

また、観光開発も目覚ましい。今後に進んで行くことであろうが、自然を生かした開発であることを期待したい。そして会津の自然を次の世代に残して欲しいと思う。何故なら会津の人々の人情深さ、忍耐強さはこの温かく厳しい自然が育てたものであると思うから。

こんな田舎であつても、子供達の姿、心や体、取り巻く情報環境は都会と全く同じように見える。しかし、いつか必ず違いが出て来るのではな

## 日々の思い

佐久間 正行

「今の子供たちは、『もの』を大切に  
する心が欠けているのではない  
か。」という声を時折耳にすることが  
あります。私も時々自分の子供達の  
机の引き出しをのぞいてみると、そ  
の中には半分しか使っていない鉛筆  
が数本、まだまだ使える消しゴムや  
他の文具類も複数入っていたりしま  
す。筆入れの中はどうなっているの  
かと思うと、ちゃんと新しい削り立  
ての鉛筆やシールに包まれた消しゴ  
ムが入っています。

一昨年改築された新しい校舎で開

いか。寒い朝、しっかりと雪を踏み  
締め、黙々と歩いている子供達の姿  
を見る度、そう思うのである。雪国  
の子供達は凄い。本物の豊かな自然  
の中で育つこの子供達ならきっと大  
丈夫だ。これは私のひいき目であ  
ろうか？

今夜もひどく冷え込んで来た。こ  
んなふうには冷え込む晩は、きつと星  
がひと際輝きを増しているはずであ  
る。

(伊南村立伊南小学校養護教諭)



催された郡連P研究大会でも、この  
ような話が話題になりました。

学校でも鉛筆や消しゴム、定規等  
の文具の落し物、かきの忘れ物など  
で持ち主が出てこないということが  
日常茶飯事とか。

このように「もの」を大切にでき  
ない原因は、種々考えられると思  
いますが、現代社会ではお金さえあ  
ればいつでも何んでも手に入るし、飽  
きたら別のものにすぐ取り替えられ  
る使い捨ての時代であることや、自  
分一人が良ければあとはどうでもよ

い、お金ですべてのことが解決でき  
るという考え方があるためではない  
かと思えます。

今こそ私たちは、幼少期からの家  
庭教育のあるべき姿を見通してい  
なければならぬと強く感じており  
ます。

なぜ「もの」を大切にしなければ  
ならないのかを、子供と一緒に話し  
合い、親が手本を示すことによつて  
理解させ、豊かな心を持った子供を  
育てたいものです。

また、子供を育てていくに当た  
っては、学校と家庭及び地域社会が連  
携を深めてこそ成果があがることは  
言うまでもありませんが、最近の家  
庭でやるべきしつけの部分まで学校  
にまかせたり、事故が起これば責任  
を追求するようなことでは、学校に  
とってはかなりの負担になっている  
のではないかと思います。子供の幸  
せと健全な成長を願い、学校の考え  
方を十分知り、保護者の意見も反映  
された教育であつてこそ向上が期待  
できることではないでしょうか。

今学習指導要領も変わり、新しい  
教育観に立った指導・援助が求めら  
れています。保護者もこれまでの考  
え方を見直し、発想の転換をして対  
応しなければなりません。

「学校(先生)は教える専門家であ  
り、家庭(保護者)は育てる専門家」

の心をもつて子育てに当たりたいも  
のと強く考えさせられる昨今です。  
(川内村立川内中学校PTA会長)

## 助け合い

(洋上研修に参加して)

鈴木 和子



青、それが私にとつての洋上研修  
のイメージです。どこまでも広がる  
海と空を見つめながら過ごした十日  
間は、私の一生の思い出です。

教師として教壇に初めて立つてか  
ら、まだ半年しか経っていません。  
大きな希望同じくらしい悩みや不安  
でいっぱいでした。こんなときに、  
たくさんさんの同じ立場の仲間に出会  
えたことは、今でも私の心を支えてあ  
り、助け合いの大切さを身を持って  
感じるよい機会となりました。

洋上研修では、講義やレクリエー  
ション活動の他に、研修生自身によ  
る研究発表会がありました。この研